



日本の介護技術を伝え、また、その経験を活かして団体は数多くの外国人材を受入れ中

■ **実施団体：**
社会福祉法人 光寿会

■ **相手国：**
ベトナム
(NAM SAI GON専門学校、
THONG NHAT国立病院)



介護技術の指導

■ **協力内容：**

- 老人ホーム等の施設がごく少数のベトナムでは、まだ「介護」という技術が体系化されておらず、その技術も十分ではない。また、介護技術を発揮する場も限定されている。このため、介護技術の移転および普及させる仕組みの構築について協力を実施。

■ **これまでの取り組み、背景：**

- 専門学校では介護短期コース用教材が、病院ではパンフレットや、ビデオがそれぞれ自律的に作成された。
- 専門学校の看護学生を対象とし、介護技術の授業を実施。介護技術を身に付けた看護師を養成した。
- 病院で介護技術を教えることができる介護技術指導人材を養成した。さらに学んだ技術を病院内へ技術普及した。
- 介護技術を身に付けた看護師が入院患者の家族へ介護技術を移転した。

ベトナムの課題と成果

課題① 一般に介護は家族の仕事とされ、介護技術が体系化されていない。

成果① 本邦研修を通して介護の必要性を理解。
→本事業で構築された介護技術普及体制が自律的に運営されることが期待できる。

課題② 介護技術を身に付けた人材が活躍できる場がない。

成果② 専門学校での介護短期コースの実施、日本での研修を通じて介護人材を育成。
→病院でも、看護師と家族介護者等を対象にセミナーを開催するなど、介護人材の活躍の場が広がった。

事業の波及効果

！ 国際協力経験を活かして、グループで97名の技能実習生の受け入れに繋がる！

- 光寿会は、本事業の実施を通じ、相手方との信頼関係構築や、先方の意欲や主体性を重視するなど、外国との付き合い方についての経験を得た。
- 協力相手国のベトナムでは先方政府の方針等もあり、本邦での介護人材の受け入れには至らなかったが、国際協力経験を活かしてミャンマー・インドネシア人材受け入れに繋がった。
- 香川、愛媛、徳島、岡山のグループ19法人で介護分野の技能実習生97名を受入、(2021年1月現在)
技能実習生は、日本の介護現場で技術を学びつつ、貴重な介護人材として活躍中。



活躍するミャンマーの介護人材